

仮想通貨レバレッジ取引の重要事項説明書

仮想通貨レバレッジ取引をされるにあたっては、本説明書の内容を十分に読んでご理解ください。また、お客様は、仮想通貨レバレッジ取引を行う上で、本説明書のほか、当社の約款、確認書、取引ルール等に拘束されますので、あらかじめよくお読みいただき、ご理解、ご同意の上で取引を行ってください。

仮想通貨レバレッジ取引は、取引対象である仮想通貨の価格の変動により損失が生ずることがあり、元本が保証された取引ではありません。仮想通貨レバレッジ取引は、多額の利益が得られることもある反面、お客様が当社に預託した証拠金の額を上回る多額の損失を被る危険を伴う取引です。したがって、取引を開始する場合又は継続して行う場合には、本説明書のみでなく、取引の仕組みやリスクについて十分にご理解いただき、自己の資力、取引経験及び取引目的等に照らして適切であるとお客様が判断する場合にのみ、自己の責任において行うことが肝要です。

仮想通貨レバレッジ取引のリスク等重要事項について

仮想通貨レバレッジ取引は、その取引の仕組みやリスクが取引所において行われる取引所金融先物取引や外貨預金等とは異なるため、その取引にあたっては本説明書及び別途規定する「利用規約」等を十分に読み、それら内容を理解し、かつ承諾する必要があります。

1. 仮想通貨レバレッジ取引は、資金決済に関する法律の対象外となります。
2. 仮想通貨レバレッジ取引は、取引対象である仮想通貨の価格の変動により損失が生ずることがあります。さらに、レバレッジ取引は、取引金額がその取引についてお客様が預託すべき証拠金の額に比して大きいため、その損失の額が証拠金の額を上回ることがあります。
3. 相場状況の急変等により、仮想通貨取引において売価格と買価格のспред幅が広くなり、お客様が意図した取引ができない可能性があります。
4. 当社が提供する仮想通貨取引システム（以下「本取引システム」といいます。）又は仮想通貨交換業者とお客様を結ぶ通信回線等が正常に作動しないことにより、注文の発注、執行、確認、取消などが行えない可能性があります。
5. 取引手数料は BTC/JPY は無料、その他通貨ペアは約定金額の 0.25% です。
6. 口座管理費は無料です。
7. お客様が注文執行後に当該注文に係る契約を解除すること(クーリングオフ)はできません。
8. 当社の提供する仮想通貨レバレッジ取引は、お客様と当社の相対取引であり、取引所取

引ではありません。当社では、複数のカバー取引先からの配信価格をもとに当社で生成した独自の価格をお客様に提示しています。当社が提示する価格は、カバー取引先や同業他社が提示している価格と一致するものではなく、当社独自の判断により価格生成を行っているため、同業他社の提示する価格と大きく乖離することがあります。その為、同業他社が提供する仮想通貨レバレッジ取引と比較して損失が拡大することや、ロスカット取引が執行されることがあります。

9. 当社が取り扱う仮想通貨は、本邦通貨又は外国通貨ではありません。

当社が取り扱う仮想通貨は、特定の者によりその価値を保証されているものではありません。当社がお客様に提供する仮想通貨は以下のとおりとなります。

(1) BTC：ビットコイン

ブロックチェーン上にすべての取引履歴を管理することで、中央集権的システムを必要としない「分散型仮想通貨」です。発行主体を持たず、発行上限を設定することで市場価値を維持する性質があり、決済手段や投資に利用されています。

ビットコイン（Bitcoin）とは、2008年に考案された暗号技術を利用した分散型台帳であるブロックチェーン（インターネット上の台帳に取引の情報を記録して資産の保存や移転の手段として使われるネットワーク）技術に基づき、価値の保存・移転が可能な仮想通貨です。発行主体を持たず、発行上限があるなどの特徴を持ち、決済手段や投資に利用されています。

(2) ETH：イーサリアム

ブロックチェーンにスマートコントラクトを残すことができ、取引で行われる契約内容を実行する仕組みになっています。

イーサリアム（Ethereum）とは、ブロックチェーンにスマートコントラクト（契約情報）・財産を扱うことができる柔軟性のある仮想通貨です。ビットコインは、ブロックチェーンによって全ての取引履歴を管理していますが、イーサリアムは、取引で行われる契約をブロックチェーンに書き込み、その書き込まれた契約内容が実行されるという仕組みです。

10. お客様から預託を受けた法定通貨は、下記の金融機関にてお客様の金銭であることがその名義により明らかな口座名に預金する方法により、当社の金銭と分別して管理しています。

静岡銀行、住信SBIネット銀行、ゆうちょ銀行、東京スター銀行

11. お客様から預託を受けた仮想通貨は、QUOINE株式会社にて当社の固有財産である仮想通貨と明確に区分し、かつ、当該お客様の仮想通貨についてどのお客様の仮想通貨であるかが直ちに判別できる状態にて管理してあります。

本件仮想通貨取引には様々なリスクが存在します。お客様はお取引を開始される前に取引に伴うリスクについて十分に理解する必要があります。下記の内容を十分に読み、リスクについて理解、承諾された上で口座開設の手続きを行ってください。なお、下記のリスクは、本件仮想通貨レバレッジ取引の典型的なリスクを示したもので、すべてのリスクを示すものではありません。

1. 価格変動リスク

仮想通貨が取引される市場では、24時間常に価格が変動しています。価格の変動は各国の経済、社会情勢等により急激な変動となることがあります。価格の変動がお客様の予想と一致しなかった場合には、取引差損が発生します。また、相場の急変時には、レバレッジ取引において、ロスカット取引や反対売買による決済の取引が成立し難い状況が発生する、あるいは価格がお客様にとって大きく不利な水準に変化することにより、その損失がお客様の当社に預託した金額以上となる可能性があります。

2. 流動性リスク

マーケットの状況によっては、価格の提示が困難になる場合があります。また、天変地異、戦争、政変、為替管理政策の変更、大型の債務不履行や倒産等の発生、ストライキ等の特殊な状況下で取引が困難又は不可能となる場合があります。また、お客様の注文数量等により提示価格と乖離が発生、取引不成立、約定が遅くなるリスクがあります。

3. ポジション料変動リスク

レバレッジ取引は、お客様が新規に建玉を保有したとき、及び建玉を翌取引日に繰り越す場合に、1日ごとにポジション料の支払いが発生します。ポジション料はマーケットの流動性を加味し、支払いの金額が変動する可能性があります。また、これに伴い追加の資金が必要になることや、ロスカット値が近くなること、ロスカット取引が行われる可能性があります。

4. レバレッジ効果によるリスク

レバレッジ取引はレバレッジ（テコの作用）による高いリスクが伴います。取引の証拠金の額は実際の取引金額に比べて小さいため、現物取引に比べ、少額の資金で相対的に大きな建玉を取ることが可能です。市場の値動きが同じであっても、建玉が大きくなれば、これに比例して取引損益は大きくなります。価格がお客様の建玉に対して不利な方向に変動した場合、レバレッジの効果を下げるには、保有する建玉の全部又は一部を決済するか、あるいは新たに証拠金を預託していただく必要が生じることがあります。さらに価格がお客様の建玉に対し急激にかつ大きく不利な方向に変動した場合、お客様の損失の拡大を防止するため、お客様の保有する建玉の一部又は全部が強制的に決済（ロスカット取引が執行）される可能性もあります。レバレッジ取引では、このレバレッジ効果を利用することができるため、相対的に小さな預託資金で大きな建玉を保有

することができ、大きな利益を得ることも可能ですが、逆に、預託した証拠金を全て失う、あるいは預託した証拠金を超える損失を被る可能性があります。

5. 信用リスク

- (1) 当社が取り扱う仮想通貨の売買は、当社とお客様との間の相対取引であり、当社はお客様との取引について、カバー取引先となる仮想通貨交換業者等とカバー取引を行うことから、当社及びカバー取引先の信用状況によってはカバー取引が執行されないこと等によりお客様に損失が生じるリスクがあります。
- (2) 当社はお客様より預け入れられた金銭を住信SBIネット銀行、静岡銀行、ゆうちょ銀行、東京スター銀行の口座に預託しております。そのため、当社の預託先の業務または財産の状況が悪化した場合は、お客様の資金の返還が困難になることで、お客様が損失を被るリスクがあります。
- (3) 当社が保有する銀行口座又は預託先の銀行口座が不正送金の対象となり、口座が凍結されるリスクがあります。

6. 電子取引システムに関するリスク

電子取引システムの場合、注文の受付に人手を介さないため、お客様が売買注文の入力を誤った場合、意図した注文が成立しない、あるいは意図しない注文が成立する可能性があります。また、電子取引システムは、当社又はお客様の通信機器の故障、回線等の障害、情報ベンダーの配信の障害、あるいは電子取引システムそのものの障害など様々な原因で一時的又は一定期間にわたって利用できない状況となる可能性があります。電子取引システム上の価格情報に表示される価格は、必ずしも市場の実勢を正確に表示しているとは限りません。市場が急激に変動した場合や、インターネット環境の状況により価格情報が遅延し、電子取引システム上の価格情報と市場の実勢価格との間で乖離が発生する可能性があります。電子取引システムを利用する際に用いられるユーザーID、パスワード等の情報が、窃盗、盗聴などにより漏洩した場合、その情報を第三者が悪用することにより、お客様に損失が発生する可能性があります。

当社の仮想通貨取引に係るリスクについて

「本件仮想通貨取引のリスクについて」に記載されたリスクと併せ、本取引システムを利用した仮想通貨取引には下記のようなリスクが存在します。お客様は取引を開始する前に取引に係るリスクについて十分に理解する必要があります。下記の内容を十分に読み、リスクについて理解、承諾された上で口座開設の手続きを行ってください。なお、下記のリスクは、典型的なリスクを示したもので、すべてのリスクを示すものではありません。

1. 各注文方法による約定価格に係るリスク

(1) 成行注文

当社の成行注文は、「仮想通貨レバレッジ取引の手続等について 17. 注文の執行方法 成行注文」のとおりとなりますが、約定価格がお客様の注文時点の取引画面に表示された平均約定価格と比べ、お客様に有利又は不利な価格で約定することがあります。また、価格の変動や相場の流動性により、お客様が成行注文の発注をしても取引が不成立になることがあります。取引が不成立となった場合、その後価格が大きく変動して損失が発生又は拡大する可能性があります。

(2) 指値注文

当社の指値注文は、「仮想通貨レバレッジ取引の手続等について 17. 注文の執行方法 指値注文」のとおりとなりますが、メンテナンス時間終了後あるいは経済指標の発表時等に当社の提示価格が大きく変動し、お客様の指値より有利な水準となった場合、約定価格が成行注文による場合に比べて大幅に不利な価格となることがあります。

(3) 逆指値注文

当社の逆指値注文は、「仮想通貨レバレッジ取引の手続等について 17. 注文の執行方法 逆指値注文」のとおりとなりますが、メンテナンス時間終了後あるいは経済指標の発表時等に当社の提示価格が大きく変動した場合、逆指値注文の約定価格がお客様の注文価格と大きく乖離した水準となり、取引の損失が注文時に想定したものよりも大幅に拡大することや、証拠金を上回る損失が発生することがあります。

(4) トレール注文

当社のトレール注文は、「仮想通貨レバレッジ取引の手続等について 17. 注文の執行方法 トレール注文」のとおりとなりますが、メンテナンス時間終了後あるいは経済指標の発表時等に当社の提示価格が大きく変動した場合、逆指値注文の約定価格がお客様の注文価格と大きく乖離した水準となり、取引の損失が注文時に想定したものよりも大幅に拡大することや、証拠金を上回る損失が発生することがあります。

2. ロスカット取引の約定価格に係るリスク

当社のロスカット取引は、「仮想通貨レバレッジ取引の手続等について 18. ロスカット取引」のとおりとなりますが、相場の変動によっては、その約定価格は証拠金維持率が 110%を下回る水準又は上回る水準である可能性があり、証拠金維持率が 110%となる価格での約定及び損失額を保証するものではなく、預託された証拠金を上回る損失が発生することがあります。お客様が預託された証拠金を上回る損失が発生した場合、お客様は速やかに当社へ弁済を行わなければなりません。

仮想通貨レバレッジ取引の手続等について

お客様が当社と仮想通貨レバレッジ取引を行う際の手続等の概要は、次のとおりです。

1. 取引の開始

(1) 本説明書の交付

はじめに、当社から交付する本説明書に記載された、仮想通貨取引の概要やリスクについて十分ご理解のうえ、ご自身の判断と責任において取引を行う旨の確認書をご提出ください。

(2) 仮想通貨レバレッジ取引口座の開設

仮想通貨レバレッジ取引の開始にあたっては、原則として当社Webサイト上にある仮想通貨取引の「口座開設フォーム」に必要事項を入力していただきます。また、当社では口座開設にあたり、ご本人である旨の確認書類をご提示していただきます。当社は、社内規程でお客様の口座開設に関する審査基準を設け、口座開設申込の際にご記入いただいたお客様の資産の状況・知識・経験・投資目的等の事項に鑑み、適合性の原則に則って口座開設に関する社内審査を行います。社内審査が完了しますと、お客様に対し速やかに口座開設の可否を通知します。ただし、口座開設の可否につきましては、必ずしもお客様のご意向に沿えない場合がありますのでご了承ください。なお、審査基準及び審査の経緯、口座開設の可否判断に関する理由等は、当社では一切開示を行わないため、あらかじめご了承ください。

2. 取引時間

取引時間は、以下のとおりです。

計算区域	午前7:00～翌午前7:00
注文受付時間/約定時間	午前7:05～翌午前6:55 (※注)
メンテナンス時間	午前6:55～午前7:05 (※注)

(※注) メンテナンスの開始及び終了時刻は数秒前後する可能性があります。

※メンテナンス時間は、レート配信を停止しているため、お客様の注文は約定しません。また、メンテナンス中における注文は、注文取消のみ可能となります。

※システム障害等の突発的な事象を除き、取引時間が変更・休止となる場合は、原則として事前に当社ホームページに掲載します。

3. 取引口座

当社が取扱う取引口座は、次のとおりです。

BTC=ビットコイン、JPY=日本円、USD=米ドル、EUR=ユーロ、AUD=豪ドル、

SGD=シンガポールドル、HKD=香港ドル、CNY=人民元、
IDR=インドネシアルピア、PHP=フィリピンペソ、INR=インドルピー、

4. 取引対象の通貨ペア

当社が取扱う通貨ペアは、次のとおりです。

通貨ペアとは、仮想通貨取引の対象となる一对の通貨をいい、左右並べて表記し、左側の仮想通貨1単位に対して右側の法定通貨又は仮想通貨で売買するのに必要な金額で表示されます。下表に記載する12通貨ペアの取引ができます。

※ETH/BTCは1ETHを売買するのに必要なBTC数量で表示されます。

BTC/JPY	BTC/USD	BTC/EUR	BTC/AUD	BTC/SGD
BTC/HKD	BTC/CNY	BTC/IDR	BTC/PHP	BTC/INR
ETH/JPY	ETH/BTC			

BTC=ビットコイン、ETH=イーサリアム、JPY=日本円、USD=米ドル、
EUR=ユーロ、AUD=豪ドル、SGD=シンガポールドル、HKD=香港ドル、
CNY=人民元、IDR=インドネシアルピア、PHP=フィリピンペソ、
INR=インドルピー

5. 取引単位

お客様が発注することができる最小取引数量は、BTCは0.001単位、ETH0.01単位となります。また、1度に発注できる最大取引数量は、100BTC又は1,000ETHとなります。但し、BTCにおいては、1時間当たりに取引が行える上限があり現物取引と合わせて500BTCまでとなります。

6. 取引手数料・本取引口座管理費等

取引手数料はBTC/JPY無料、BTC/JPY以外の通貨ペアは約定代金の0.25%（税込）となります。本取引口座管理費は、無料です。

7. ポジション料

仮想通貨レバレッジ取引にてお客様が新規に建玉を保有したとき及び建玉を翌取引日に繰り越す場合に、1日ごとに発生する手数料のことです。

ポジション料は約定代金の0.05%（税込）となります。

8. 呼び値の単位

呼び値の最小変動幅は、BTCは「0.00001」です。JPY、IDR、PHP、INRは「1」です。USD、EUR、AUD、SGD、HKD、CNYは「0.01」です。

9. 取引価格

当社は、カバー取引先から配信された価格を参考にして、当社基準にて決定された売価格と買価格を板情報に表示します。

お客様の注文時に取引画面に表示する取引価格は、参考価格として表示されるものであり、約定価格は、当社が注文を受付けた後、約定のために必要な処理をした時点の取引価格を基準として約定されます。したがって、相場の変動等により、お客様の注文時に取引画面に表示されていた取引価格又はお客様が注文時に指定した価格と異なる価格で約定する場合があります。この価格差を「スリッページ」といいます。スリッページは、お客様にとって有利になる場合もあれば、不利になる場合もあります。

当社は、相場急変時や市場の流動性が乏しい状況等により、カバー取引先から最新の価格を安定的に参照できなくなった場合や、価格が市場実勢を反映してないと当社が判断した場合、お客様への価格配信及び注文執行を一時停止することがあります。その後、カバー取引先から継続的かつ安定的に参照することが可能となり、また、それらの価格が市場実勢を反映した価格であると当社が判断した場合、お客様への価格配信及び注文執行を再開します。

メンテナンス等により、価格配信を停止している間は注文執行が停止しているため、再開前に受付けた注文及びロスカット取引は、価格配信の再開後の価格を基準として注文執行がされます。各注文は「17. 注文の執行方法」によるため、価格配信を停止している間の相場の動向によっては、お客様にとって大きく不利な価格で約定することがあります。これにより、お客様は大きな損失が発生する可能性があります。

10. 差金決済

お客様は、お客様が保有する建玉に対し反対売買を行うことで、その建玉を解消します。建玉の最終決済は差金決済のみとし、お客様が取引を行った法定通貨及び仮想通貨の口座で損益を受払いします。

損益の受払いは、取引口座における金銭の残高に反映する方法により、原則、反対売買を行った後、速やかに行われます。

決済による損益が、取引を行った口座通貨以外で発生した場合は、お客様の取引により口座通貨の「法定通貨」又は「仮想通貨」にて受渡させていただきます。口座通貨への換算価格は当社の裁量により合理的な数値を用いることとします。

反対売買に伴う損益は、約定価格差×取引数量により算出した額となります。

※約定価格差とは、反対売買に係る約定価格と当該反対売買の対象となった新規の買付又は売付に係る約定価格との差をいいます。

11. 注文の種類

注文の種類は、以下のとおりとなります。なお、詳細な説明は、「17. 注文の執行方法」

をご覧ください。

●成行注文 ●指値注文 ●逆指値注文 ●トレール注文

12. 取引環境

当社の提供するレバレッジ取引は、インターネットを通じ当社の推奨環境にて行うことが可能となります。そのため、お客様は当該取引を行うにあたり、お客様の責任と負担において使用機器及び回線に関する推奨環境を準備する必要があります（具体的な推奨環境は、当社ホームページに掲載しております。）。なお、当該取引は本取引システムを利用して行われるものとし、本取引システムの改変及び当該取引以外での使用を禁止します。

13. 預託金の入金及び出金

(1) 預託金の差入

お客様が法定通貨を証拠金としてレバレッジ取引を行う場合、法定通貨の取引口座に新規注文に必要な証拠金額以上の額を事前に差入れていただきます。なお、法定通貨の入金は本邦通貨のみの取扱いとなります。

お客様による預託金の入金は、当社指定銀行口座への振込に限られます。当社指定銀行口座に振込まれた預託金については、かかる入金を当社が認識した時点でおお客様の取引口座に反映されるため、振込入金から取引口座への反映までの間に時間が掛かる可能性があります。また、入金いただく際の「振込名義人」は、本取引システムの「取引口座名義人」と同一のものに限ります。振込名義人と取引口座名義人が相違することが判明した場合は、取引口座へ入金処理完了後、又は売買発生後といえども当該取引口座への入金の取消しを行います。これにより発生するリスクは、全てお客様の負担となります。

(2) 仮想通貨の差入

お客様が仮想通貨を証拠金としてレバレッジ取引を行う場合、仮想通貨の取引口座に新規注文に必要な証拠金額以上の額を事前に差入れていただきます。なお、レバレッジ取引が行える仮想通貨の取引口座は、BTCのみの取扱いとなります。

仮想通貨の預入は、当社指定ウォレットアドレスに送金、若しくは、本邦通貨を預託の上、現物取引により仮想通貨へ交換することによりできます。

(3) 法定通貨の引出し

お客様が預託した法定通貨の引出しは、本邦通貨のみの取扱いとなります。

お客様が取引口座に預託している額から必要証拠金、注文証拠金、評価損を控除した金額（以下「出金可能額」といいます。）の範囲内で、お客様の依頼により、ご登録されたお客様名義の金融機関口座へ振込みします。

当社は、お客様の出金可能額をお客様の出金請求時と当社が実際に出金処理すると

きの双方で判断させていただきます。そのため、お客様の出金請求後、出金手続きを当社が処理している間に、出金可能額が出金請求額を下回った場合、出金手続きを中止させていただきます。

当社は、お客様の出金請求日から原則 3 銀行営業日以内にお客様のご登録された国内の金融機関口座に振込みします。海外への振込みは行いません。

金融機関口座への振込みの際の手数料は、一律 500 円 (税込) がお客様負担となり、出金請求額より差引かせていただきます。なお、出金請求は、原則 1 営業日 1 回、かつ 1,500 円以上の金額とさせていただきます。よって、出金可能金額が 1,500 円未満の場合、出金することができません。

※お客様のいずれかの取引口座にて立替金が発生している場合、出金可能額がプラスであっても、当社は出金請求の手続きを中止します。

(4) 仮想通貨の引出

お客様が預託した仮想通貨の引出しは、お客様の依頼により、出金可能額の範囲内で、お客様のご登録されたウォレットアドレスへ送金します。

当社はお客様の出金可能額を、お客様の送金請求時と当社が実際に送金処理するときの双方で判断させていただきます。そのため、お客様の送金請求後、送金手続きを当社が処理している間に、出金可能額が送金請求額を下回った場合、送金手続きを中止させていただきます。

送金請求は、原則 1 営業日 1 回、かつ BTC と ETH は 0.02 以上、BCH は 0.01 以上とさせていただきます。

当社は、お客様の送金請求日から原則 3 営業日以内にお客様のご登録されたウォレットアドレスに送金します。

仮想通貨の送金手数料は、無料となります。

※お客様のいずれかの取引口座にて立替金が発生している場合、出金可能額がプラスであっても、当社は送金請求の手続きを中止します。

(5) 有価証券等による充当

当社のレバレッジ取引における証拠金は、本邦通貨及び BTC のみの取扱いとなります。有価証券等を証拠金に充当することはできません。

14. 証拠金

- (1) お客様が取引口座に預託した残高が当社に預託された証拠金の額として取り扱われます。
- (2) 新規注文及びポジションを保有するために必要となる証拠金 (必要証拠金) は、想定元本の 50% (レバレッジ 2 倍)、25% (レバレッジ 4 倍)、20% (レバレッジ 5 倍)、10% (レバレッジ 10 倍)、4% (レバレッジ 25 倍) の額となります。
- (3) 証拠金維持率は、レバレッジ取引を行うそれぞれの取引口座において算出され、必要

証拠金に対する有効証拠金の割合をいい、下記の式となります。

$$\text{証拠金維持率} = \text{純資産} \div \text{必要証拠金}$$

- (4) 純資産とは、お客様が差入れた預託金額対し、レバレッジ取引における建玉の評価損益を加減算した額となります。

15. 注文の受付

取引画面を操作する方法による注文のみを受け付けます。訪問、電話及び窓口による注文は、受け付けません。

また、当社は、その保有するリスク等に鑑み適切であると認めるとき（当社のシステム障害等に起因する場合や仮想通貨に関する状況変化等に起因する場合がありますが、これらに限られません。）は、新規注文の受付を停止する場合があります。

16. 注文の指示事項

仮想通貨レバレッジ取引の注文をするときは、当社の取引時間内に、次の事項を正確に指示してください。

- ・注文する通貨ペア
- ・売買の別
- ・注文数量
- ・注文の執行方法
- ・価格
- ・その他当社が指定する事項

17. 注文の執行方法

注文種類	執行方法
成行注文	<p>成行注文は、お客様が注文価格を指定せずに行う注文方法です。成行の売注文の場合は、最も価格が高い買注文から順番に注文数量に応じて注文が成立します。同様に成行の買注文を出すと、その時に出ている最も低い価格の売注文から順番に注文数量に応じて注文が成立します。なお、お客様が指定した注文数量の全部が約定せず、一部のみ約定となることがあります。この場合、未約定の部分の注文は失効されます。</p> <p>※お客様が成行注文を行う場合、お客様の発注時に取引画面に表示されている価格と、実際の約定価格との間に価格差が生じている場合があります。当該価格差は、お客様端末と当社システムの間での通信に伴う時間、板情報の更新及び当社システムの約定処理に要する時間により発生するもので、お客様に有利になる場合もあれば、不利になる場合もあります。</p>

	す。
指値注文	指値注文は、お客様が注文価格を指定して行う注文方法で、当社がお客様に配信する価格が、売注文の場合はお客様が指定した価格以上、買注文の場合はお客様が指定した価格以下になった時に、お客様の指定した価格又は有利な価格で約定します。なお、お客様が指定した注文数量の全部が約定せず、一部のみ約定する場合があります。この場合、未約定の部分の注文は、全部が約定又はお客様が取消するまで有効です。また、一部約定後、注文価格を訂正することはできません。注文価格を修正する場合は、一度注文を取消した上で、再度注文を行ってください。
逆指値注文	逆指値注文は、お客様が注文価格（逆指値価格）を指定して行う注文方法で、当社がお客様に配信する価格が、売注文の場合はお客様が指定した価格以下、買注文の場合はお客様が指定した価格以上になった場合に成行注文を執行します。なお、お客様が指定した注文数量の全部が約定せず、一部のみ約定となることがあります。この場合、未約定の部分の注文は失効されます。 ※お客様が指定した逆指値注文の価格と、実際の約定価格との間に価格差が生じている場合があります。当該価格差は、成行注文のため、板情報の更新及び当社システムの約定処理に要する時間により発生するもので、お客様に有利になる場合もあれば、不利になる場合もあります。
トレール注文	トレール注文は、逆指値注文の注文価格に値幅又は変動率指定機能を追加する注文です。売注文の場合は、トレール注文発注後の高値から注文時に設定した値幅又は変動率以上に値下がりをしたら、買注文であれば、トレール注文発注後の安値から発注時に指定した値幅又は変動率以上に値上がりした場合に成行注文を執行する注文です。

18. ロスカット取引

取引口座ごとに証拠金維持率が 110%未満となっていることを当社システムが検知したときに、当該口座にて保有しているポジションのうち 1 BTC 又は 1 ETH 当たりの評価損の大きいポジションから、証拠金維持率が 110%以上になるようお客様の計算により自動的に成行注文による反対売買が出されます。

※新規注文を指値注文・逆指値注文で発注し、約定していない注文は、ロスカット執行時に取消しとなりません。

※ロスカット取引は、必ずしもお客様の損失額を保証するものではありません。急激な

相場変動の状況によっては、損失額がおお客様の差入れている預託金を上回り、預託金残高がマイナスとなることがあります。

19. 約定の訂正等

当社は、当社の取引システムの障害や、市場実勢を反映していない価格の配信等により、お客様の注文が本来の配信価格とは明らかに異なる価格で約定した場合、当該事象がなかったものとみなし、約定の訂正等を行うことがあります。当該内容はお客様に対して、当社ホームページ、本取引システム又はメール等にてお知らせします。

20. サーキットブレーカー制度

当社は、誤発注や需給関係の乱れ等急激な価格変動防止の観点から、当社の定める下記の条件を満たした場合、該当通貨ペアの取引を一時中断します。

発動条件：基準価格が値幅制限を超えた範囲で約定が発生した場合

基準価格：15分以内の約定価格の高値または安値

値幅制限：基準価格の40%

再開方法：サーキットブレーカー発動時の値段より再開

※サーキットブレーカー発動中は注文及び注文の修正・取消を行うことはできません。

21. 債務の履行の方法

仮想通貨レバレッジ取引に必要な証拠金及び仮想通貨は、当社が指定する金融機関の口座又はウォレットアドレスにお振り込みください。お客様が債務の履行を怠った場合には、お客様が当社に預託している仮想通貨について、その引き出しを停止するとともに、当社所定の方法により、債務の充当のために必要な処分をすることがあります。

仮想通貨レバレッジ取引の仕組み、取引の手続等について、詳しくは当社にお尋ねください。

当社の概要について

商号 みんなのビットコイン株式会社
本店所在地 〒158-0094
 東京都世田谷区玉川一丁目 14 番 1 号
設立年月日 2016 年 12 月 15 日

苦情受付について

当社は、お客様からの苦情を次の窓口で受け付けております。

受付時間 24 時間 365 日（臨時メンテナンス時間を除きます。）
窓口 カスタマーサポート課
受付方法 WEB 専用お問合せフォーム (<https://min-btc.com>)

仮想通貨レバレッジ取引に関する主要な用語

■アラート率

証拠金維持率が低下していることを警告するレベルであり、証拠金維持率が 120%を下回ると、電子メールにてその旨を通知します。

■売建玉（うりたてぎょく）

売付取引のうち、決済が終了していないものをいいます。

■オファー

仮想通貨交換業者が価格を示して特定数量の商品を売り付ける旨の申出をすることをいいます。

■買戻し（かいもどし）

売建玉を手仕舞う（売建玉を減じる）ために行う買付取引をいいます。

■裁判外紛争解決制度（さいばんがいふんそうかいけつせいど）

訴訟手続によらず、民事上の紛争を解決しようとする紛争の当事者のため、公正な第三者が関与して、その解決を図る手続きをいいます。ADR制度ともいいます。

■差金決済（さきんけっさい）

レバレッジ取引等の決済に当たり、原資産の受渡しをせず、算出された損失又は利益に応じた差金を授受することによる決済方法をいいます。

■純資産（じゅんしさん）

証拠金、評価損益を反映したお客様の口座内の実質的な資金をいいます。

■証拠金（しょうきん）

レバレッジ取引等の契約義務の履行を確保するために差し入れる保証金をいいます。証拠金には、取引成立の際に差し入れる当初証拠金と建玉について割り込むことができない維持証拠金の区分があります。この場合、お客様が差入れている証拠金額が維持証拠金額を下回った場合には、当初証拠金の水準まで追加証拠金を差し入れなければなりません。

■建玉（たてぎょく）

反対売買を行う前（決済前）の状態

レバレッジ取引の買いについては「買い建玉」、売りについては「売り建玉」と呼びます。「ポジション」と呼ぶ場合もあります。

■注文証拠金（ちゅうもんしょうきん）

新規注文を指値注文・逆指値注文で発注し、注文中となっている注文に必要な証拠金をいいます。注文証拠金の金額は、以下の算式により計算された金額です。

注文時：注文価格×発注数量÷レバレッジ

■転売（てんばい）

買建玉を手仕舞う（買建玉を減じる）ために行う売付取引をいいます。

■評価損益（ひょうかさんえき）

未決済の建玉を現在の価格で評価した場合の損益

■ビッド

仮想通貨交換業者が価格を示して特定数量の商品を買い付ける旨の申出をすることをいいます。

■必要証拠金（ひつようしょうきん）

新規取引を開始するために必要な証拠金をいいます。必要証拠金の金額は、以下の算式により計算された金額です。

約定時：約定価格×約定数量÷レバレッジ

■両建て（りょうだて）

同一の商品の売建玉と買建玉を同時に持つことをいいます。

■レバレッジ取引

お客様が預け入れた証拠金を担保にお客様の指定したレバレッジ比率に応じて証拠金の何倍もの金額を運用する取引をいいます。精算は差金決済により行われます。なお、差金決済取引は資金決済に関する法律（平成 21 年 6 月 24 日法律第 59 号）の対象外です。

■ロスカット取引

お客様の証拠金維持率が 110%未満となった場合、証拠金維持率が 110%に回復するまで、お客様の建玉のうち評価損の大きい通貨ペアを算出し評価損の大きいポジションから強制的に成行で決済します。

■ロールオーバー

仮想通貨レバレッジ取引において、同一営業日中に反対売買されなかった建玉を翌営業日に繰り越すことをいいます。

平成 29 年 6 月 30 日 制定

平成 30 年 2 月 21 日 改訂

平成 30 年 5 月 15 日 改訂

平成 30 年 5 月 17 日 改訂

平成 30 年 12 月 11 日 改訂

平成 31 年 1 月 12 日 改訂